

2018
1

かながわの交通

交通安全年間スローガン受賞作品(内閣総理大臣賞)
～一般部門B～(歩行者・自転車利用者)へ呼びかけるもの

行けるはず まだ渡れるは もう危険



謹賀新年

富士山

(藤沢市片瀬海岸)



道路横断には気をつけて!

高齢歩行者の事故が増えています。

油断大敵! 運転者も歩行者もルールを守って
交通事故防止に努めましょう!

歩行者
事故
多発!

◎県内の交通事故発生概況(平成29年12月末現在) ◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数		総数	男	女
平成29年		28,536	149	33,595	県人口	9,164,074	4,571,519	4,592,555
平成28年		27,091	140	32,305	免許人口	5,621,662	3,225,170	2,396,492
増減数		+1,445	+9	+1,290	割合	1.6人に1人	1.4人に1人	1.9人に1人
増減率		+5.3	+6.4	+4.0				

(県人口は平成29年12月1日、免許人口は平成29年11月末現在)

公益財団法人
神奈川県交通安全協会

会長 石坂 浩二



新年明けましておめでとうござ
います。

皆様方には、ご家族共々希望に
満ちた輝かしい新春をお迎えのこ
ととお慶びを申し上げます。

年頭ご挨拶

神奈川県警察

本部長 斉藤 実



謹んで新年の御挨拶を申し上げ
ます。

公益財団法人神奈川県交通安全
協会の皆様におかれましては、輝か
しい新春をお迎えのこととお慶び
申し上げます。

交通安全協会の運営につきまして
は、平素から深いご理解と多大なご
支援及びご協力をいただきしておりま
すことに、厚くお礼申し上げます。

昨年中の県内の交通安全活動に
つきまして、県、県警察をはじめ関
係機関・団体の方々の懸命な活動と
県民一人ひとりがそれぞれのお立
場で家庭や地域、職場等において、
ご尽力をいただいたことに対し深
く敬意と謝意を表する次第であり
ます。さて、昨年の本県における
交通事故の状況は、残念なことに
発生件数、負傷者数は17年振りに
増加となり、亡くなられた方も過
去最少を記録した昨年を上回って
しまいました。

なかでも、高齢者の方が犠牲にな
られた事故や自転車利用中の事故

貴協会の皆様には、平素から交通
安全活動はもとより、警察行政各般
にわたり深い御支援と御協力を賜
り、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年の交通事故情勢を顧み
ますと、人身交通事故の発生件数、
けがをされた方は17年振りに増加に
転じましたが、亡くなられた方は
149人と過去最少であった平成28
年は上回ったものの、それに次ぐ人数
となりました。

交通死亡事故の特徴として、亡く
なられた方の約半数の方が高齢者で、
そのうち、道路横断中に交通事故に
よって亡くなられるケースが、多く見
受けられました。

が著しく増加し、二輪車事故も依
然として多発しております。

特に高齢者の方は全死者数の約
半数を占め、歩行中に亡くなられ
る事故が多くなるなど非常に厳し
い状況になっております。

また、昨年6月には、東名高速道
路において、あおり運転を繰り返し、
追越し車線で無理やり車両を停止
させたことが原因で、ご夫婦が亡く
なるという悲惨な事故が発生し、
大きな社会的問題になりました。

悲惨な交通事故を防止するには、
県民、警察、自治体、関係機関・団
体、ボランティアなどが一体となった、
地道ではありますが、心に訴える
県民総ぐるみの交通安全活動が重
要であると強く感じているところで
あります。

さらに、東名高速では、あおり運転
を起因とする社会的反響の大きな
交通死亡事故も発生したところで
あります。

このような情勢に鑑み、県警察の
本年の取組といたしましては、悲惨
な交通事故を1件でも減少させる
ため、高齢者と子供の事故防止対策、
二輪車事故防止対策、自転車事故防
止対策及び飲酒運転の根絶対策を
重点として、交通事故抑止につな
がる交通指導取締り、幅広い年齢層を
対象とした交通安全教育等のほか、
高齢歩行者に対する反射材の直接
貼付活動や街角アドバイス、各種キ
ャ

ンペーンなどの街頭活動を強化する

このため、神奈川県交通安全協会
といたしましては、本年も県、県警
察、関係機関、団体のご協力を得な
がら各地区交通安全協会と緊密に
連携し

- 子どもと高齢者を交通事
故から守る各種活動の推進
- 自転車の安全利用の推進
- 二輪車の交通事故防止に
資する各種活動の推進

等を重点として、交通安全活動に積
極的に取り組んでまいりますので、
より一層のご支援ご協力をお願い申
し上げます。

結びに、今年一年が皆様方にとり
まして、明るく健やかな年となりま
すよう、心から祈念申し上げます
新年の挨拶とさせていただきます。

といった交通死亡事故抑止総合対策
を強力に推進してまいります。

貴協会、交通指導員の皆様には、暑
さ寒さの厳しい折にも、通学児童の見
守り活動などに御尽力いただいている
ところでありますが、今後も地域に
おける交通安全活動の中核として、
県民の皆様との交通安全意識の高揚に、
さらなるお力添えを賜りますようお願い
申し上げます。

結びになりますますが、貴協会のみ
ますの御発展と会員の皆様への御健勝、
御多幸を心から祈念申し上げます。
年頭の挨拶とさせていただきます。

第58回交通安全国民運動中央大会本会議 交通栄誉章「緑十字金・銀章」交通優良団体等表彰

金章7名、銀章34名、5団体が受章

1月19日、東京都の文京シビックホールで開催される第58回交通安全国民運動中央大会本会議における(公財)神奈川県交通安全協会推薦の受章者(団体)は次のとおりです。

★交通栄誉章緑十字金章

・交通安全功労者

- 杉島 和二郎(加賀町)
- 鈴木 一美(栄)
- 小池 克利(高津)
- 遠藤 秀則(小田原)
- 山口 伸一(大和綾瀬)
- 川崎 健二(港北)
- 伊藤 善夫(横須賀)

・優良運転者

★交通栄誉章緑十字銀章

・交通安全功労者

- 堀野 貞雄(山手)
- 小澤 秀行(南)
- 岩村 芳彦(南)
- 松浦 泰弘(鶴見)
- 蕪木 秀男(青葉)
- 鈴木 昇(都筑)
- 山田 正利(栄)
- 前嶋 喜義(高津)
- 田口 義明(横須賀)
- 高橋 佳信(足柄)
- 石井 キクエ(秦野市)
- 野沢 正男(秦野市)
- 飯塚 武彦(伊勢原)
- 三木 純(金沢)
- 佐藤 勝治(金沢)

・優良運転者

- 佐藤 勝治(金沢)

交通栄誉章緑十字金章受章者

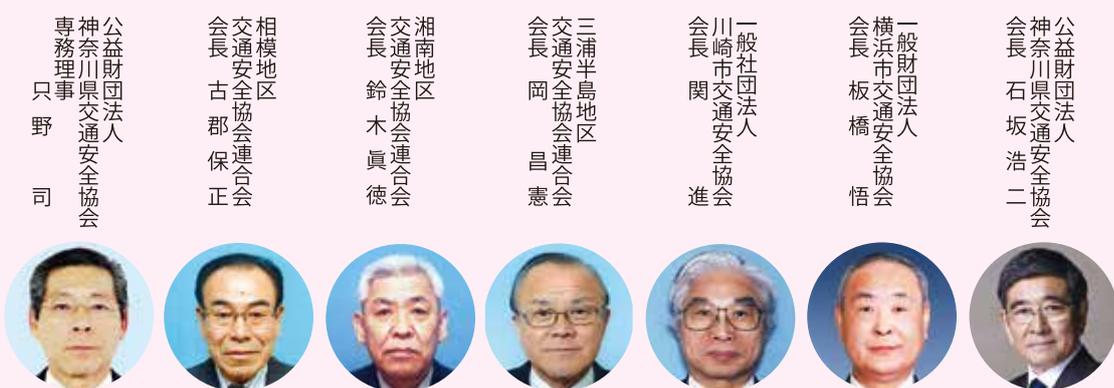


- 板羽 完五(保土ヶ谷)
 - 藤平 明子(旭)
 - 秋庭 桂三(港南)
 - 小島 栄治(港北)
 - 齊藤 正憲(青葉)
 - 唐戸 正治(都筑)
 - 佐藤 勝嘉(栄)
 - 峯藤 茂(栄)
 - 菅 毅(瀬谷)
 - 中島 公雄(横須賀)
 - 秋本 昭司(横須賀)
 - 高橋 義幸(鎌倉)
 - 河原 信隆(藤沢北)
 - 松下 光夫(藤沢北)
 - 榎本 樹男(秦野市)
 - 落合 千秋(厚木警察署管内)
 - 落合 珠子(厚木警察署管内)
 - 島山 常雄(大和綾瀬)
 - 有住 彰(相模原)
- (順不同・敬称略)

★交通安全優良団体等

- 横須賀交通指導員連絡部
- 県立川崎工科高校
- 三浦市立名向小学校
- (二財)多摩交通安全協会
- 三浦市交通安全協会

新春のお慶びを
申し上げます



第58回交通安全国民運動中央大会で表彰される学校の紹介

◎ 神奈川県立川崎工科高校（川崎市中原区上平間1700-7）

〔沿革等〕

神奈川県立川崎工科高等学校は、昭和16年に神奈川県立川崎工業学校として設立され、その流れを引き継ぎ平成21年に現在の川崎工科高等学校として設立されました。

校名のとおり、全日制専門学科の高校として6つのコースがあり（環境エンジニア・電気テクノロジー・機械エンジニア・ロボットシステム・情報メディア・食品サイエンス）これからの時代に合った科学技術と技能を合わせ持ったテクノロジストの育成を推進しています。

JR南武線平間駅近くの住宅地に位置しているため、生徒数は700名を超えますが、その半数が自転車通学をしています。

「科学技術の発展に寄与し、広く世界で活躍しようという向上心を持ち、豊かな教育と創造力のあるテクノロジストの育成を目指す。」を教育目標とし、専門知識の習得や科学技術に関する独創的な創造力を育成しています。

〔功績の概要等〕

自転車通学の生徒が半数を占めることから、年1回中原警察署による交通安全講話と実技講習会を開催するなど、生徒に対して交通安全について周知徹底しています。その他、ホームルームや授業で交通安全に対する各種コンテストを独自で実施し、校長賞、PTA会長賞等の表彰も行っています。

また、春と秋の交通安全運動期間中は近隣の平間中学校と協力し、中高生が地元の平間小学校の児童に対して通学時の見守り活動を実施するなど、学校の内外で活躍しています。

スタート神奈川のモデル校として、川崎市で最初にスクエアストレートを取り入れた学校でもあります。教職員、生徒会をはじめ学校全体で交通安全教育に熱心に取り組んでいます。



◎ 三浦市立名向小学校（三浦市三崎町諸磯65番地）

〔沿革等〕

昭和42年4月1日開校（開校記念日4.14）緑豊かな名向が丘から相模湾や富士山を望む本校は「かしこく やさしく たくましく」生命を大切にする子の育成を目指し、恵まれた環境と温かい地域の協力のもと、教育活動を行っています。校地内に学校園があり、毎年、三浦大根をはじめ、さまざまな野菜づくりを行うなど、自然体験を大切にしています。校舎内には昔の生活用具や農具などを展示した「いろりの部屋」があることも本校の特徴です。海洋教育にも力を入れており、シーボニア海洋塾や釣り船乗船などの海洋体験とともに、東京大学大学院理学系研究科付属臨海実験所と連携して三浦の「世界一の海」をテーマに調査・発表も行いました。さらに、小網代パール海育隊のご指導により三浦真珠復活プロジェクトにも参加させていただいています。ここ数年は「学びのユニバーサルデザイン」を研究目標として、すべての児童が安心して充実した学習活動を行うことができるように、鋭意、研究を進めているところです。また、平成29年10月には保護者、職員、地域の皆様と力を合わせた創立50周年式典と一週間にわたる数々の催しを実施し、大きな反響をいただきました。

〔功労の概要等〕

交通安全教育に関しては、1年生入学直後に三崎警察署による学校周辺の歩行指導があります。警察の指導では4年生の自転車教室も毎年実施しています。

また、各学期始めの1週間程度、集団による登校を行い教職員が見守ることで安全への意識を高めています。年に数回は集団下校を実施し、教職員が引率する中、PTAが見守ることで学校と保護者が一体となった安全教育に寄与しています。

特に自転車の安全走行に関しては10回目を数える「三浦市自転車マナーアップ大会」に毎年出場チームを送っています。そこで常に上位の結果を得て、この4年間は連続で「交通安全こども自転車神奈川県大会」に出場を果たし、そこでも好成績を収めています。毎回、三崎警察署や三浦市交通安全協会の皆様による温かいご指導や励ましをいただいています。今年度もチームとして8位、個人の学科では1位を獲得し、子どもたちは、ますます取り組みへの意欲を向上させていました。



平成30年交通事故防止総合対策

昨年の県内の交通事故情勢は、発生件数、けがをされた方が17年振りに増加に転じましたが、亡くなられた方は149人と過去最少であった平成28年は上回ったものの、それに次ぐ人数となりました。

県警察では、悲惨な交通事故を1件でも減らすため「平成30年交通事故防止総合対策」として

- ① 高齢者と子供の事故防止対策
- ② 二輪車事故防止対策
- ③ 自転車事故防止対策
- ④ 飲酒運転根絶対策



の4つの柱を重点としつつ、交通死亡事故が月末と月初めに多発している状況を踏まえ、新たに交通死亡事故抑止対策として、月末3日間及び月初め3日間を合わせた6日間を「月末・月初め6日間対策」として県内において、交通指導取締りや関係機関・団体と連携した広報啓発活動などを推進します。

平成29年度「年末の交通事故防止運動」実施結果

■ 交通事故発生概況 12月11日(月)～12月20日(水)

	発生件数						死者数					負傷者						
	子供	高齢者	自転車	二輪車	飲酒		子供	高齢者	自転車	二輪車	飲酒	子供	高齢者	自転車	二輪車	飲酒		
期間中累計	981	58	357	236	286	11	7	0	4	1	2	1	1,114	64	179	224	258	11
前年同期比	+96	-23	+47	±0	±0	+9	+2	±0	+2	±0	±0	+1	+53	-26	+13	±0	±0	+7

2018交通安全カレンダー

(公財)神奈川県交通安全協会では、今年も「2018交通安全カレンダー(平成30年)」を作製しました。

表紙には横浜ベイブリッジとみなとみらい地区をイメージ。

各月に交通安全スローガンや交通事故防止ワンポイントアドバイスなどを掲載し、表中には各季の交通安全運動や交通安全活動の日、交通死亡事故計上関係と県警職員三交代当番日を載せております。



平成30年使用 交通安全年間 スローガン決定



全日本交通安全協会と毎日新聞社が主催し、内閣府、警察庁等の後援により募集した交通安全年間スローガン(平成30年使用)は、応募総数64,422点で、その中から一般部門A、B及びこどもの各部門で内閣総理大臣賞、内閣府特命担当大臣賞、警察庁長官賞がそれぞれ3点、こども部門で文部科学大臣賞1点、全日本交通安全協会会長賞(佳作)9点の入選が決定しました。

☆ 一般部門A：運転者(同乗者を含む)へ呼びかけるもの

- ◎ 内閣総理大臣賞
ぶつかるよ ながら運転 じこのもと (静岡県 大場皐生)
- 内閣府特命担当大臣賞
一杯で 消える未来と 消せぬ罪 (大阪府 大矢弘子)
- 警察庁長官賞
ハイビーム 上手にを使って 事故防止 (東京都 加藤友之)
- 全日本交通安全協会会長賞(佳作)
ハイビーム 知らせる 見つける 夜の道 (岡山県 赤堀邦子)
免許証 返して増えた 家族の和 (北海道 高橋鉄巳)
ほく安心 チャイルドシートに 抱かれてる (兵庫県 村岡孝司)

☆ 一般部門B：歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの

- ◎ 内閣総理大臣賞
行けるはず まだ渡れるは もう危険 (兵庫県 村岡孝司)
- 内閣府特命担当大臣賞
危ないよ スマホじゃなくて 周り見て (宮城県 櫻井綾香)
- 警察庁長官賞
反射材 自分をアピール 防ぐ事故 (岡山県 増田 愛)
- 全日本交通安全協会会長賞(佳作)
暗い道 私のお守り 反射材 (静岡県 吉國久嗣)
ヘッドホン はずして聴こえる 街の音 (香川県 福島八千代)
手軽でも 重いよ自転車 その責任 (大分県 坂本洋一)

☆ こども部門：こども(中学生以下)へ交通安全を呼びかけるもの

- ◎ 内閣総理大臣賞
自転車は 車といっしょ 左側 (静岡県 小田友華)
 - 内閣府特命担当大臣賞
よくみせて ちいさなきみの おおきなて (茨城県 渡邊実桜)
 - 警察庁長官賞
良いお手本 なれる自分が カッコイイ (静岡県 赤井桃子)
 - 文部科学大臣賞
とうげこう おしゃべりはみだし あぶないよ (静岡県 松浦哩玖)
 - 全日本交通安全協会会長賞(佳作)
いのちより スマホの方が 大事なの? (茨城県 山口花音)
とびださない ほくとままとの おやくそく (静岡県 松林 遼)
手を挙げて 車にアピール 「渡ります!」 (埼玉県 猿渡日向子)
- (敬称略)

賛助会員の紹介

このコーナーでは、(公財)神奈川県交通安全協会の交通安全活動に賛同し、賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。(敬称略)

- セコム(株) 横浜市港北区新横浜
- (株)重慶飯店 横浜市中区山下町
- 全国共済神奈川県総合生活協同組合 横浜市中区常盤町

この人

145



会長 鶴見交通安全協会
堀 晃一さん



新年あけましておめでとうございます。
平成30年のトップバッターを飾っていただきますのは、昨年6月に鶴見交通安全協会の第5代会長に就任されました堀 晃一さんです。

鶴見交通安全協会は、昭和23年5月に設立され、本格的な活動を展開してゆくため、昭和39年に鶴見警察署内に事務所を移転し現在に至っております。

鶴見区内の交通事情は、国道15号、京浜第一国道、産業道路の大きな幹線道路を有していることから交通事故が多い状況であります。また、新春名物となっている箱根駅伝の最初かつ最後の中継所があり、当協会も付近の交通整理に携わっております。

堀会長は、鳥根県出身で、高校時代から親の知人の縁である鶴見に移り住み、生活することになりました。23歳の時に長男が誕生したことに奮起し、3年後には「梱包産業社」を設立、昭和51年には現在の「進和運輸株式会社」に社名を変更し本格的な物流業を開始しました。会長は、常々「物流業は、皆様の道路を利用させてもらっているので、何か恩返しをして社会のために役立ちたい」と思っていた時、交差点で早朝より交通整理をしている交通安全協会の活動に感動し、当協会に入会したそうです。

その後、平成6年に理事、平成12年に常任理事、平成28年には副会長に就任され、協会の交通安全活動に尽力され、昨年、6月の協会総会において推挙され第5代会長に就任されました。

表彰歴は、横浜市長表彰をはじめ、県警察本部長表彰、交通栄誉章緑十字銀章等を受賞されており、仕事上でも平成28年度自動車関係功労者国土交通大臣表彰を受賞されております。また、鶴見警察署推進委員協議会に参加し、横浜市交通安全協会の評議委員、鶴見警察署協議会会長を歴任されております。

会長は温厚で責任感の強い性格だからこそ「交通安全はまず自社から」と、朝礼でも社員に対し「黄色信号は止まれ」と指導しているだけではなく、自ら行動を示して、交通安全の社内表彰やバイオリズムカレンダーを活用して、「自社からの一步一步の事故防止が大きなものになり、鶴見区全体の交通安全に繋がれば」と日々交通安全に強い意識を持ち続けております。今後も健康に留意され、末長く交通安全活動をリードしていただきたいと願っています。

取材協力：鶴見交通安全協会

こんにちは
「平塚市交通安全協会」です

新年明けましておめでとうございます。
平塚市交通安全協会は、昭和28年4月に発足し、以来64年間平塚市の交通安全活動に力を注いでまいりました。
当協会には、現在28の各支部があり、286名の交通指導員が在籍しており、市内28小学校の通学路に立ち、学童登校時の街頭指導や、平塚市内の新入学児童には平成2年から毎年「こうつうあんぜんあいうえおひょう」をプレゼントしています。
平塚といえば、「湘南ひらつか七夕まつり」や「箱根駅伝」での街頭指導も欠かせない仕事です。また、協会の広報誌「むいはん」を毎年発刊し、自治会等の回覧を通じて市民のみみなさまに回覧いただき、交通事故防止を呼びかけております。

毎月1日の「県民交通安全の日」、15日の「高齢者交通安全の日」や季節ごとの安全運動期間中は、毎朝1時間、当協会役員が広報PRを実施し、各支部広報部長が午後1時30分から2時間の広報を行っております。

県内のどちらの市町村でも、自転車交通事故には頭を悩ませているかも知れませんが、平塚は市内全域が平坦で自転車に乗りやすい環境にあるため、自転車利用者が特に多い場所です。毎冬、関係機関と協力し市内にある高校全8校を訪問して「自転車マナーアップキャンペーン」を実施しています。

このような活動の努力が実を結び、昨年は人身交通事故が大幅に減少し記録は現在も続いています。また、高齢者の交通事故防止として、大型バスを使った「体験型高齢者交通安全教室」等も実施しております。



今後は、各会議で同席した際に、時折、他の地区協会さんとも話題になりますが「高齢化」に伴って協会活動の幅をどう広げるか、一方で、減少が始まっている若者の免許取得率の向上に、いかにして向かい合っていくかが課題となってこようかと思っています。
(渡邊 記)

地区交通安全協会の活動紹介



伊勢佐木 桜木町駅前での飲酒運転根絶キャンペーン



多摩 稲田堤駅前でハンドルキーパー運動。



平塚 平塚駅北口での飲酒運転根絶キャンペーン



相模原南 古淵駅周辺の飲食店で飲酒運転根絶キャンペーン



松田 松田駅周辺での飲酒運転根絶キャンペーン



浦賀 久里浜駅前での飲酒運転大根絶キャンペーン



伊勢原 愛甲石田駅周辺の飲食店でハンドルキーパー運動



瀬谷 三ツ境駅周辺での飲酒運転根絶キャンペーン



逗子 逗子駅周辺の飲食店でハンドルキーパー運動



藤沢北 湘南台駅周辺でのハンドルキーパー運動

年末の交通事故防止運動

インフォメーション

- 企画安全委員会 ————— 2月23日(金) 県協会会館
- 交通指導員連絡会議 ————— 2月28日(水) 県協会会館